

環境林整備事業の実施状況について

環境を重視した森林づくりとして、「針広混交林への誘導＝環境林整備事業」の進捗が進まない理由

- ・環境林整備事業は、これまで手入れができていない人工林を対象としているため、森林所有者の特定や森林境界の確定が通常事業に増して事業実施の障害となっている。
- ・環境林整備事業では、森林の公益的機能を発揮することを目的に、皆伐をおこなわない、強度間伐を実施する等を内容とする20年間の協定締結が必要であるが、森林所有者によっては、長期の協定締結に抵抗がある。
- ・環境林整備事業は、手入れ不足森林の解消の1つの手法であるが、京都議定書に基づき地球温暖化防止のため森林吸収源確保対策として、人工林のまま経営を維持する間伐事業の実施が進んだことにより、結果として環境林の進捗が伸びなかった。

今後の対応

- ・放置された人工林対策は、今後も重要な施策の1つである。今後の進め方としては、「間伐促進マップ」を活用し、過密になっている人工林の森林所有者に対し、経済林として維持していくのか、もしくは手のかからない針広混交林へ誘導するのかの選択を求めている。
- ・針広混交林を選択した森林所有者に対し、環境林整備事業は、放置された人工林を解消する最終手段として重要な施策であり、今後も進めていく必要がある。当初整備目標として設定した平成32年度までの整備面積3,200haは、そのまま維持していく。
- ・今後、県下の人工林は、集約化施策を実施する区域とそれ以外、また針広混交林に誘導する区域等の区域分けを行い、目的にあった整備をすすめる。
- ・当面の進捗は、経済林としての間伐が主になるため予定通りとは行かないが、森林の区分が進むに従い、後半で事業量は伸びてくると予想している。

琵琶湖森林づくり県民税充当による環境を重視した森林整備の進捗状況

				琵琶湖森林づくり基本計画策定 琵琶湖森林づくり県民税事業実施									
				H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H21目標	達成度	H32目標
県民税充当事業	人工林	環境林整備事業 (ha)	単年度				93	142	187	131	200		
			累計					235	422	553	800	69.1%	3,200
		農地漁場水源確保森林 整備事業(ha)	単年度						359	319	500	63.8%	
			累計							678			
		長寿の森整備事業 (ha)	単年度				996	3,424	4,065	4,029	3,000	134.3%	5,000
			累計										
		間伐材搬出利用量 (m3)	単年度				1,475	2,687	3,400	6,209	4,000	155.2%	
			累計					4,162	7,562	13,771			
	天然林	里山リニューアル事業 (ha)	単年度				123	124	152	204	100		
			累計					247	399	603	400	150.8%	

参考

間伐実施面積(ha)	単年度	2,085	2,288	2,468	2,541	3,060	2,525	2,984	2,600	114.8%	
	累計				5,009	8,069	10,594	13,578			